

## 国登録有形文化財（建造物）の新規登録について

令和6年11月22日（金）に国の文化審議会（会長 島谷弘幸）が開催され、本県  
所在の建造物4箇所10件の登録が答申されました。

### 1 答申が行われた本県所在の建造物

江原本家清芳山荘（旧木村清四郎邸）

江原本家奥庫（旧朝日町奥庫）

江原本家質庫（旧朝日町質庫）

江原本家大庫（旧朝日町醤油醸造蔵）

（所在地：前橋市富士見町赤城山字竜ノ口 1825-39 他）

詳細は別添資料①を参照

下村家住宅主屋

下村家住宅稲荷社

（所在地：前橋市紅雲町一丁目）

詳細は別添資料②を参照

廣池千九郎谷川記念館麗澤館（旧主屋及び旧浴場）

廣池千九郎谷川記念館神壇

（所在地：みなかみ町谷川字上原 557-1 他）

詳細は別添資料③を参照

廣池千九郎大穴記念館偲ぶの湯（旧洞窟温泉）

廣池千九郎大穴記念館脱衣場

（所在地：みなかみ町大穴字高平 735-1）

詳細は別添資料④を参照

### 2 登録有形文化財（建造物）数（官報告示後）

- ・ 354件（141箇所）（件数10件、箇所数4箇所の増）

### 3 関係機関 連絡先

- ・ 前橋市教育委員会文化財保護課 027-280-6511
- ・ みなかみ町教育委員会生涯学習課 0278-25-5025

江原本家清芳山荘（旧木村清四郎邸）  
 江原本家奥庫（旧朝日町奥庫）  
 江原本家質庫（旧朝日町質庫）  
 江原本家大庫（旧朝日町醤油醸造蔵）

| 名称                    | 構造及び形式                | 建築年代等                       | 登録基準 |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------------|------|
| 江原本家清芳山荘<br>（旧木村清四郎邸） | 木造平屋建、瓦葺、<br>建築面積188㎡ | 大正2年建築／昭和11年移築、<br>昭和60年再移築 | 2    |
| 江原本家奥庫<br>（旧朝日町奥庫）    | 土蔵造2階建、瓦葺、<br>建築面積35㎡ | 明治10年建築／平成13年移<br>築、令和6年改修  | 2    |
| 江原本家質庫<br>（旧朝日町質庫）    | 土蔵造2階建、瓦葺、<br>建築面積35㎡ | 明治前期建築／平成13年移築、<br>令和6年改修   | 2    |
| 江原本家大庫<br>（旧朝日町醤油醸造蔵） | 木造平屋建、瓦葺、<br>建築面積159㎡ | 明治前期建築／平成13年移築              | 2    |

※登録基準2 造形の規範となっているもの

### （1）所在地

- ・前橋市富士見町赤城山字竜ノ口 1825-39 他

### （2）概要と建物の変遷

- ・江原本家は繭糸商、金融業、倉庫業等を営み、貴族院議員の江原芳平（1849～1928）等を輩出した旧家です。前橋市長（第5代）を努めた江原桂三郎（1894～1967）は分家出身です。
- ・清芳山荘・奥庫・質庫については令和6年に改装を行い、現在は宿泊施設として活用されています。大庫は倉庫として利用されています。
- ・【清芳山荘】大正2年（1913）に、日銀副総裁を務めた木村清四郎の邸宅として、東京都麻布に建築されました。江原本家が譲り受けて昭和11年（1936）に東京都杉並へ移築、昭和60年（1985）に現在地へと再移築されています。長らく江原本家の別邸として利用されてきました。清芳山荘の号は、江原芳平と木村清四郎の名を取って付けられました。
- ・【奥庫】明治10年（1877）に前橋市朝日町の江原本家本邸に家財庫として建築され、平成13年（2001）に現在地へ移築されました。
- ・【質庫】明治前期に前橋市朝日町の江原本家本邸に質庫として建築され、平成13年（2001）に現在地へ移築されました。
- ・【大庫】明治前期に前橋市朝日町の江原本家本邸に醸造蔵として建築され、平成13年（2001）に現在地へ移築されました。

### （3）建物の特徴

- ・【清芳山荘】木造平屋建・瓦葺の上質な近代和風建築で、良材を用いた座敷には床・付書院を備え、洋室には木製マントルピースを備えています。
- ・【奥庫】土蔵造2階建・切妻造平入・瓦葺の厳重な土蔵です。外壁は白漆喰、腰は黒漆喰で仕上げられています。
- ・【質庫】土蔵造2階建・寄棟造平入・瓦葺の厳重な土蔵です。外壁は白漆喰、腰は黒漆喰で仕上げられています。
- ・【大庫】木造平屋建・切妻造妻入・瓦葺の長大な土蔵です。外壁は白漆喰、腰は黒漆喰で仕上げられています。

(4) 写真 (提供 : 前橋市教育委員会)



江原本家清芳山荘 (旧木村清四郎邸) 外観



江原本家清芳山荘 (旧木村清四郎邸) 和室・畳廊下



江原本家清芳山莊（旧木村清四郎邸） 洋室



江原本家奥庫（旧朝日町奥庫） 外観



江原本家質庫（旧朝日町質庫） 外観



江原本家大庫（旧朝日町醤油醸造蔵） 外観

しもむら け じゅうたく おも や  
下村家住宅主屋  
しもむら け じゅうたく い な り し ゃ  
下村家住宅稲荷社

| 名称       | 構造及び形式                      | 建築年代等               | 登録基準 |
|----------|-----------------------------|---------------------|------|
| 下村家住宅主屋  | 木造平屋建、茅葺（鉄板仮葺）、<br>建築面積106㎡ | 江戸末期建築<br>／昭和20年代改修 | 1    |
| 下村家住宅稲荷社 | 木造平屋建、鉄板葺、<br>建築面積0.2㎡      | 明治後期建築<br>／昭和20年頃移築 | 1    |

※登録基準1 国土の歴史的景観に寄与しているもの

(1) 所在地

- ・前橋市紅雲町一丁目  
(個人住宅のため詳細については非公表です)

(2) 概要と建物の変遷

- ・下村家は繭糸商を営み、初代前橋市長を務めた下村善太郎（1827～1893）、衆議院議員の下村善右衛門（1863～1934）等を輩出した旧家です。
- ・当初は下村家の別邸として整備され、明治41年（1908）からは本邸として利用されました。
- ・【主屋】江戸末期に建築されたとみられます。本来は茅葺屋根ですが、昭和20年代に鉄板仮葺へと改修しています。建物の内外装は新建材で改装されていますが、建築当初の仕上げを覆うように施工されており、構造材・造作材の大部分は当初の状態を維持しています。
- ・【稲荷社】明治後期に建築されたとみられます。当初は瓦葺でしたが、昭和20年（1945）頃に敷地内で曳家移転し、屋根を鉄板葺きに改修しています。

(3) 建物の特徴

- ・【主屋】平屋建寄棟造・東西棟・茅葺（鉄板仮葺）で、北側に台所、西側に便所が接続します。軒の低い外観が特徴的です。
- ・【稲荷社】主屋の西側、敷地の北奥に立地する小規模な社殿です。一間社流見世棚造・鉄板葺で丸石積基壇に建ち、大ぶりの屋根が特徴的です。

(4) 写真 (提供 : 前橋市教育委員会)



下村家住宅主屋 外観



下村家住宅稲荷社 外観

ひろいけ ちくろうたにがわ きねんかんれいたくかん きゅうおも や きゅうよくじょう  
 廣池千九郎谷川記念館麗澤館（旧主屋及び旧浴場）  
 ひろいけ ちくろうたにがわ きねんかんしんだん  
 廣池千九郎谷川記念館神壇

| 名称                          | 構造及び形式                 | 建築年代等                | 登録基準 |
|-----------------------------|------------------------|----------------------|------|
| 廣池千九郎谷川記念館麗澤館<br>（旧主屋及び旧浴場） | 木造平屋建、杉皮葺、<br>建築面積94㎡  | 昭和11年建築<br>／昭和40年代改修 | 1    |
| 廣池千九郎谷川記念館神壇                | 木造平屋建、杉皮葺、<br>建築面積7.3㎡ | 昭和11年建築<br>／昭和40年代改修 | 1    |

※登録基準1 国土の歴史的景観に寄与しているもの

(1) 所在地

- ・みなかみ町谷川字上原 557-1 他

(2) 概要と建物の変遷

- ・廣池千九郎（1866～1938）は、モラロジーを提唱し学校法人廣池学園を創立した教育者です。昭和11年（1936）に谷川温泉の木立の中に療養施設を築き、晩年を過ごしました。昭和12年（1937）には、近傍の大穴温泉にも入浴施設を設けています。
- ・【麗澤館（旧主屋及び旧浴場）】昭和11年（1936）に建築され、昭和40年代に基礎改修が行われています。建物保護のため、現在は覆屋が設置されていません（覆屋は登録対象外）。
- ・【神壇】昭和11年（1936）に建築され、昭和40年代に基礎改修が行われています。

(3) 建物の特徴

- ・【麗澤館（旧主屋及び旧浴場）】平屋建切妻造・杉皮葺で、東側に浴場が接続します。杉皮葺屋根の上に杉皮葺屋根を重ね、外壁を杉皮張仕上、天井も割竹竿縁の杉皮張とする等、地元の杉材を多用した特異な外観となっています。
- ・【神壇】主屋の北側に南面して立地する小社殿で、天照皇大神を祀ります。平屋建切妻造平入・杉皮葺で、正面と側面（正面寄り）に板戸を建て、外壁は杉皮張仕上、天井も割竹竿縁の杉皮張としています。麗澤館と同様に地元の杉材を多用し、独特の景観を形成しています。

(4) 写真 (提供 : みなかみ町教育委員会)



廣池千九郎谷川記念館麗澤館 (旧主屋及び旧浴場) 外観①



廣池千九郎谷川記念館麗澤館 (旧主屋及び旧浴場) 外観②



廣池千九郎谷川記念館麗澤館（旧主屋及び旧浴場） 内部



廣池千九郎谷川記念館神壇 外観

ひろいけちくろうおおあなきねんかんのゆきゅうどうくつおんせん  
 廣池千九郎大穴記念館偲ぶの湯（旧洞窟温泉）  
 ひろいけちくろうおおあなきねんかんだついでば  
 廣池千九郎大穴記念館脱衣場

| 名称                        | 構造及び形式                | 建築年代等               | 登録基準 |
|---------------------------|-----------------------|---------------------|------|
| 廣池千九郎大穴記念館偲ぶの湯<br>（旧洞窟温泉） | コンクリート造、<br>延長7.0m    | 昭和12年建築<br>／平成15年改修 | 3    |
| 廣池千九郎大穴記念館脱衣場             | 木造平屋建、杉皮葺、<br>建築面積25㎡ | 昭和12年建築<br>／平成15年改修 | 1    |

※登録基準1 国土の歴史的景観に寄与しているもの  
 登録基準3 再現することが容易でないもの

(1) 所在地

- ・みなかみ町大穴字高平 735-1

(2) 概要と建物の変遷

- ・廣池千九郎（1866～1938）は、モラロジーを提唱し学校法人廣池学園を創立した教育者です。昭和11年（1936）に谷川温泉の木立の中に療養施設を築き、晩年を過ごしました。昭和12年（1937）には、近傍の大穴温泉にも入浴施設を設けています。
- ・【偲ぶの湯（旧洞窟温泉）】昭和12年（1937）に建築され、平成15年（2003）に土石流災害からの復旧工事が行われています。
- ・【脱衣場】昭和12年（1937）に建築され、平成15年（2003）に基礎改修が行われています。建物保護のため、現在は覆屋が設置されています（覆屋は登録対象外）。

(3) 建物の特徴

- ・【偲ぶの湯（旧洞窟温泉）】湧き出す温泉を求めて岩盤を掘り広げ、素掘りのヴォールト状トンネルの奥に浴槽を設置しています。源泉湧出口やトンネル入口周辺についてはコンクリートで補強しています。岩窟内に設けられた独特の入浴施設です。
- ・【脱衣場】偲ぶの湯（旧洞窟温泉）の入口南に設けられた、平屋建切妻造・杉皮葺の脱衣場です。杉皮葺屋根の上に杉皮葺屋根を重ね、外壁を杉皮張仕上とし、小屋組はキングポスト・トラスです。谷川記念館の麗澤館・神壇と同様に、地元の杉材を多用した独特の外観を呈しています。廣池千九郎が臨終を迎えた、記念碑的な施設です。

(4) 写真 (提供: みなかみ町教育委員会)



廣池千九郎大穴記念館偲ぶの湯 (旧洞窟温泉) 浴槽



廣池千九郎大穴記念館偲ぶの湯 (旧洞窟温泉) 入口



廣池千九郎大穴記念館脱衣場 外観



廣池千九郎大穴記念館脱衣場 内部